

# チリ中部沿岸を震源とする地震による津波について（第2報）

平成22年2月28日（9：45）

官 邸 対 策 室

## 1. 津波警報の概要（気象庁）

（1）発表日時：平成22年2月28日9時33分（気象庁）

（2）大津波警報：高いところで3m程度以上の津波が予想される

青森県太平洋沿岸 13：30（津波到達予想時刻） 3m

岩手県 13：30（津波到達予想時刻） 3m

宮城県 13：30（津波到達予想時刻） 3m

（3）津波警報：高いところで2m程度の津波が予想される

北海道太平洋沿岸東部（津波到達予想時刻：13：00 2m）、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県日本海沿岸、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、東京湾内湾、伊豆諸島、小笠原諸島（津波到達予想時刻：13：00 2m）、相模湾・三浦半島、静岡県、愛知県外海、伊勢・三河湾、三重県南部、淡路島南部、和歌山県、岡山県、徳島県、愛媛県宇和海沿岸、高知県、有明・八代海、大分県瀬戸内海沿岸、大分県豊後水道沿岸、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、鹿児島県西部、沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方

（4）津波注意報：高いところで0.5m程度の津波が予想される

北海道日本海沿岸南部、オホーツク海沿岸、陸奥湾、大阪府、兵庫県瀬戸内海沿岸、広島県、香川県、愛媛県瀬戸内海沿岸、山口県瀬戸内海沿岸、福岡県瀬戸内海沿岸、福岡県日本海沿岸、長崎県西方、熊本県天草灘沿岸

（5）地震の概要

- ・発生日時：2月27日15時34分頃（現地時間3時34分頃）
- ・震源地：チリ中部沿岸（南緯36.1度、西経72.6度）
- ・震源の深さ：約60km
- ・地震の規模：マグニチュード8.6（推定）

## 2. 海外での津波の観測状況（8：00現在）

- ・エクアドル サンタクルス島 0.7m
- ・米領サモア パゴパゴ 0.7m
- ・サモア アピア 0.2m
- ・米国 ハワイ州ホノルル 0.2m
- ・チリ タルカワノ 2.3m
- ・チリ バルパライソ 1.3m
- ・チリ コキンボ 1.3m
- ・チリ コラル 0.9m
- ・チリ アンクド 0.6m

|            |          |        |
|------------|----------|--------|
| ・チリ        | アントファガスタ | 0. 5 m |
| ・チリ        | イースター島   | 0. 4 m |
| ・エクアドル     | バルトラ島    | 0. 3 m |
| ・仏領マルキーズ諸島 | ヒバオア島    | 1. 8 m |
| ・クック諸島     | ラロトンガ島   | 0. 3 m |
| ・米国        | ハワイ州カフルイ | 1. 0 m |

### 3. 政府の主な対応

27日

19:00 官邸に情報連絡室を設置

28日

8:30 官邸対策室に改組

緊急参集チーム招集

総理指示「津波の状況について情報収集を行い、住民の避難と被害を最小限とするための準備に政府として万全を期すこと。」

9:03 緊急参集チーム協議開始

緊急参集チーム確認事項

1. 津波の状況について情報の収集・分析を行い、あらゆる手段を活用し、国民への情報提供を適切に行う。

2. 関係機関・地方自治体との連絡調整を密接に行い、住民の避難に万全を期す。

3. 水門の閉鎖など、被害を最小限とするための対策に万全を期す。

4. 津波による被害が発生した場合においては、被災地域における被害情報の収集と被災者の救出・救助に全力を挙げる。

5. 関係する在外公館との連絡を密接に行い、在留邦人の安否確認に努める。

6. 引き続き、地方自治体との的確な連携を図るとともに、関係省庁の連携を密にし、政府一体となって適切に対応する。

### 4. 邦人の安否確認状況

(1) チリ (外務省28日8:00現在)

・28日7:00現在邦人の被害は報告されていない。

・在留邦人の被害について安否確認作業を継続中。

(チリの在留邦人数は1197人 2009年10月現在)

(2) ハワイ (外務省28日9:30現在)

・邦人の被害情報なし (8:38現在)

### 5. 各省庁の対応

・気象庁

27日19:00 記者会見

28日 8:30 記者会見

(太平洋沿岸では1～3m程度の津波が予想される。)

・ 消防庁

27日 16:00 情報収集体制を整備

28日 9:33 消防庁対策本部設置

・ 外務省

27日 17:00 外務省対策室を設置